



医療法人おかもと整形外科クリニック  
おかもとリハビリ訪問看護ステーション

おかもと整形外科ブログ

おかもと整形外科・オクス上深川・おかもとリハビリ訪問看護ステーションから  
皆さまに情報を発信しています。

## 「できない」 から 「できる」 へ

麻痺などの症状が改善せず、悩んでいるという声が多くあります。  
今ある機能（残存機能）を評価し、  
工夫することで生活の質を高めることができます。

○今回は療法士の介入により、身体機能に変化がなくてもできることが増えたケースを紹介



左片麻痺で車椅子で  
生活している主婦の方。

自分でもう1度調理をしたいと希望があり、  
右図のような自助具を作製しました。  
これによりボウルや器を自分で運んだり、  
車椅子上での調理ができるようになりました。  
ご主人のサポートもあり、少しずつ夕食の  
準備に取り組まれています。



着脱可能なテーブルを作製



釘付きのまな板を作製

**活動報告** 2名の職員が演者として研修会で発表しました。

◎第4回 広島パーキンソン病・リハビリ研究会 発表者：細野（理学療法士）  
テーマ：パーキンソン病の在宅支援～高齢者夫婦を通して～

パーキンソン病は進行疾患ではありますが、その人らしい生活を実現するための関わり方について発表しました。

◎2019年度 在宅医療研修会 発表者：横山（言語聴覚士）  
テーマ：摂食嚥下機能に障害を持つ利用者への関わり

飲み込みが難しくなった方にとって、食べ物を口から食べることの大切さについて  
考え発表しました。



## 編集後記

おかげさまで無事に第2号を発行することができました。今号で取り上げたように利用者様の生活の質を  
高めるために柔軟な対応、工夫をしながらサービス提供できるよう今後も職員一同努めていきたいと思っ  
ます。ご要望等ありましたらお気軽にお声かけください。次回は4月発行予定です。